

質 疑 応 答 書

工事件名 : 石積埋立処分場浸出水処理施設建設工事 (第2期整備第1区画)

整理番号 150510085

質 問 事 項	回 答
<p>1 発注仕様書 P.3 に「処理水は第1期の処理水と併せ、松森工場へ圧送の上、下水放流を行う計画」とありますが、下記解釈で問題ないでしょうか。 (a) 第1期処理水も今回処理水同様に第2調整槽(既設)に一度貯留してから松森工場へ圧送する。 (b) 第1期処理水の移送ポンプ・配管等(第1期処理施設→第2調整槽)は今回工事対象範囲外である。</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>2 発注仕様書 P10 3) ガス：プロパンガスを使用すること。とありますが、オール電化で計画してもよろしいでしょうか。また、オール電化とした場合、ガス設備は設置しなくても宜しいでしょうか。</p>	<p>オール電化でも可とし、その際はガス設備の設置の必要はありません。</p>
<p>3 発注仕様書 P10 4) 雨水排水：雨水排水は、場内排水溝にて集水し、最寄りの雨水排水路へ排水すること。とありますが、雨水排水の取合点を御教示下さい。</p>	<p>既設雨水排水溝、または場内整備工事で敷地の南側の法面との境界に設置する雨水排水溝(添付資料1参照)に、適切に設計し接続してください。</p>
<p>4 発注仕様書 P.10 の 8) 管理設備 に「運転管理に必要な人員分の適切な事務スペース、トイレ等を設置する。」とありますが、P.63 の(3) 各室配置 にある処理室内の便所は管理設備のトイレを共用するものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>5 発注仕様書 P14 3. 保証期間 浸出水調整槽の水槽防食において、躯体が原因となる水槽防食の欠陥、破損等については保証外と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>6 発注仕様書 P17 第8節 工事範囲 外構工事について記載がありませんが、外構工事一式(舗装、植栽等)は別途と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>別途場内整備工事で行います。</p>
<p>7 発注仕様書 P32 (5) 調整槽内の内面防食被覆一式 とありますが、躯体のクラック補修、不陸調整は別途と考えて宜しいでしょうか。また、水張り試験も別途と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>クラック補修は別途工で行いますが、防食被覆に必要な不陸調整は本工事とします。また、水張り試験は防食被覆施工前に別途工で行います。</p>
<p>8 発注仕様書 P.44 に砂ろ過塔の予備品としてゼオライトの記載がありますが、スペック等にご指定はありますでしょうか。</p>	<p>ゼオライトの仕様については、適切に設計してください。</p>
<p>9 発注仕様書 P.53 の 1. 放流管圧送ポンプについて、数量が2台とありますが他のポンプ同様に(自動交互)との解釈で問題はありませぬでしょうか。</p>	<p>自動交互運転を基本とします。</p>

10	<p>発注仕様書 P.54 第 3 調整槽から下水放流接続管への接続位置は、添付資料 5-1 の汚水槽(2)の西側直近に示される(仮)既設排水ライン(青色)へ南側から接続する赤線矢印部と考えてよいでしょうか。</p> <p>また、可能であれば既設排水ラインの埋設深さをご教示ください。</p>	<p>既設排水ラインへの接続は、おおよそ図示による付近としますが、設計時において地下埋設物等を調査し、精査の上、適切な位置で行うこととします。</p> <p>既設排水ラインの埋設深さは、約 GL-1 m です。</p>
11	<p>発注仕様書 P.55 の第 2 節 井水送水管に「既設の浸出水第 1 井戸からの送水管から分岐し、井水を、浸出水処理施設内の井水貯留槽まで移送する配管を敷設する」とありますが、分岐した場合に既設の第 1 井戸ポンプ送水能力は不足しないものとし、第 1 井戸ポンプの更新等は行わないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
12	<p>発注仕様書 P.55 の第 3 節 浸出水送水管に「既設の浸出水第 2 処理施設の原水槽から浸出水調整槽まで配管を敷設し、第 1 期の浸出水を融通できるようにする」とありますが、送水時は第 2 処理施設原水槽内の既設ポンプのバルブ切替にて対応するものとし、新たに送水ポンプを設置する必要は無いと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
13	<p>発注仕様書 P62 3. 土工事(3)掘削は、現地地盤面から開始するものとし、とありますが、現況地盤を御教示下さい。</p>	<p>本浸出水処理施設及び調整槽敷地においては、別途場内整備工事でアスファルト面を撤去後の地盤面となります。その他の場所においては、アスファルト舗装面が現況地盤面となります。</p>
14	<p>発注仕様書 P62 3. 土工事(5)残土は、本市指定する場内仮置き場へ運搬する。とありますがどのくらいの距離でしょうか。また仮置きした残土は埋戻土として利用しても宜しいでしょうか。</p>	<p>仮置き場への運搬距離は、0.5km 程度です。 残土は、埋戻土として利用を認めます。但し、土質に問題がある場合はこの限りではありません。</p>
15	<p>発注仕様書 P63 2) 基礎 地下構造物は別途レベル 2 地震動による照査を実施することとありますが、地下構造物も建築仕様による設計と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
16	<p>発注仕様書 P63 (3)各室配置 管理室の床仕上げはコンクリート金ゴテの上防塵塗装とありますので OA フロアーは不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>OA フロアは、設計上の選択肢とします。また、適切な防塵塗装を行ってください。</p>
17	<p>発注仕様書 P63 2) 水張り試験 水張り試験の水は淡水とする。とありますが、水張り試験の水は、御支給していただけますでしょうか。</p>	<p>水張り試験の水は、井水を支給します。</p>
18	<p>発注仕様書 P65 2. 給排水衛生設備 生活系排水は、既設の浄化槽へ接続させること。とありますが、既設の浄化槽の位置を御教示下さい。</p>	<p>既設浄化槽の位置は、既設受変電設備の南東側直近です。</p>
19	<p>発注仕様書 P66 水槽の閉塞 非常用発電装置等の設置がある為、従来通り、浸出水処理施設とし、用途変更申請は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>用途変更申請は不要です。</p>

20	発注仕様書 P66 2.水槽の閉塞 閉塞の表層は200mm 以上のコンクリート仕上げとし、とありますが、現状のスラブ厚さにて同等の荷重に耐えられる場合は現状のままとしてもよろしいでしょうか。	よろしいです。
21	発注仕様書 P66 2.水槽の閉塞 必要に応じ埋戻しを行うなどありますが、水槽下部の耐圧盤は、埋戻しに耐えられる躯体と考えて宜しいでしょうか。また、埋戻しを行う場合は、既存マンホールからとしても宜しいでしょうか。	現時点は耐えられるものと考えますが、躯体構造の強度については、設計時に確認してください。埋戻しを行う場合には、上面スラブを撤去した後に埋戻し、上面スラブを新たに打設することとします。
22	発注仕様書 P66 2.水槽の閉塞 残汚水は浸出水調整槽に排水するとありますが、残汚泥の処分は、別途と考えてよろしいでしょうか。本工事の場合は、残汚泥の量を御教示下さい。	汚泥数量は約 10 m ³ を想定していますが、汚泥処理は本工事で処理場内に埋立処分とします。埋立位置までの距離は約 0.5km です。
23	発注仕様書 P66 既設倉庫等解体撤去 既設倉庫②は浸出水調整槽予定地と重複しますが、撤去範囲は地上部分までで宜しいでしょうか。	よろしいです。
24	発注仕様書 P66 既設倉庫等解体撤去 既設倉庫の仕上材等にアスベストは含まないと考えて見積もりして宜しいでしょうか。	よろしいです。
25	別途工事である場内整備工事にて浸出水調整槽が施工されますが、浸出水処理施設の着工開始時期(掘削開始)をご教示願います。	場内整備工事も契約前ですので、提示できません。
26	工事車両と既施設および他工事関連車両の錯綜を緩和するため、下記内容についてご教示ください。 (a)埋立物の搬入時間帯および頻度 (b)第 2 処理施設への薬品搬入の時間帯および頻度 (c)第 2 処理施設からの汚泥搬出時間帯および頻度 (d)第 2 調整槽貯留水の搬出時間帯および頻度 (e)今回新設する浸出水調整槽(別途工事)の工事時期・期間	(a)9:00~16:15 ・約 40 台/日 (b)9:00~16:15 ・約 10 台/月 (c)9:00 頃 ・約 3 回/週 (場内埋立) (d)8:30~15:00 ・約 25 台/日 (e)質問事項 25 と同回答 ※(a) (d)のその日の最初の車両は、8:00 頃より入場待機しています。 (b)は、7:00 頃より入場待機する場合があります。
27	発注仕様書の添付資料 2 地質調査データに孔口標高 90.5m と記載がありますが、添付資料 1 のボーリング位置はEL+65m 程度と想定されます。どちらが正でしょうか。	EL+65m 程度を正とします。
28	発注仕様書の添付資料 3 の「放流管φ100(約5.8km)(別途工事)」について、当社範囲は放流管圧送ポンプと自動弁、および第三調整槽入口の放流管端部の手動弁の設置のみ(配管工事は含まない)との解釈でよろしいでしょうか。	質問 28 の設備に加え、質問 29 の流量計 2 台も本工事対象です。配管工事は含みません。
29	発注仕様書の添付資料 3 の「放流管φ100(約5.8km)(別途工事)」について、第 2 調整槽出口側と第 3 調整槽入口側にそれぞれ流量計が記載されていますが、両方とも必要でしょうか。	放流管途中の漏水を確認するために必要です。

30	<p>平成 27 年 2 月の見積仕様書ではフローシート、全体配置図、平面図(参考図)をご提出していません。</p> <p>本工事は技術提案による総合評価方式であるため、上記提出書類には制約を受けず、今回の弊社技術提案内容による基本プランに基づいて施設全体計画を協議し、決定するものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
31	<p>専任で配置する監理技術者は、設計・工事製作期間と現場施工期間で監理技術者を変更できるリレー方式の採用が可能でしょうか。</p>	<p>監理技術者配置について、リレー方式の採用は原則不可とします。</p>

注 1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合（見積に必要な事項に限る。）にのみ提出して下さい。会社名を記入する必要はありません。